

家保通信

Vol. 39 No. 11 2月号

東京都家畜保健衛生所

令和8年1月26日

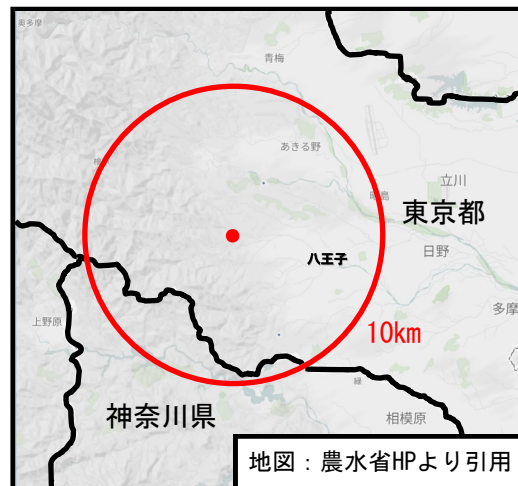
かほくイズ

イノシシは冬眠するのでしょうか？

- ①冬眠する
- ②冬眠しない

都内野生イノシシで豚熱陽性！

昨年12月25日、26日に八王子市美山町で発見された死亡野生イノシシ2頭から豚熱ウイルスが検出されました。都内では昨年3月以来、9か月ぶりの確認です。豚飼養農場では、靴の履き替えや消毒、衣服の交換等の飼養衛生管理基準の遵守徹底と適切なワクチン接種をお願いします。毎日の健康観察を実施し、**異状を確認した際には速やかに当所までご連絡ください。**



赤点：死亡いのしし発見地点



近県で高病原性鳥インフルエンザが発生しています

全国各地で高病原性鳥インフルエンザが続発しています。昨年12月末から今年1月にかけて、**埼玉県嵐山町**をはじめ京都府、茨城県、北海道、宮崎県、兵庫県、香川県、三重県、岐阜県で発生しています。近県で発生しており、都内の農場にいつウイルスが侵入してきてもおかしくない状況です。今一度、**飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。**

また、今シーズンの発生事例の中には、家きん死亡羽数増加の原因を他の疾病と判断し、経過観察をしたことによる**通報遅れ**の報告がありました。**少しでも異状を確認した際には、自己判断せず、すぐに当所までご連絡ください。**

加えて、青梅市の一部地域は大臣指定地域※に指定されています（令和8年1月1日施行）。対象の飼養者には個別に連絡をしておりますが、指定地域では以下の対策を追加で実施するようお願いします。

○家きん舎周辺の消毒に十分な量の消毒薬や塵埃対策としての動力噴霧器等の備蓄

○農場周辺の野鳥生息状況を把握し、野鳥誘引防止対策を実施

- ・防鳥ネットやテグス等を用いた野鳥対策
- ・飼料タンク下の飼料こぼれの速やかな清掃



※大臣指定地域

過去に高病原性鳥インフルエンザが複数回発生し、今後も発生リスクが高いとして農林水産大臣が指定する地域



冬に起こる下痢・呼吸器感染症に気をつけましょう

冬に流行しやすい牛の下痢・呼吸器病を紹介します。以下の感染症を侵入させないため、導入牛や預託帰還牛の隔離等を実施し、飼養衛生管理基準の遵守を徹底しましょう。また、寒さ対策や適切なワクチン接種により感染症を予防しましょう。

牛ロタウイルス感染症

新生子牛に激しい水溶性下痢を起こします。下痢によって脱水症状を起こし、衰弱することもあります。牛舎の清掃・消毒や隔離哺育で、牛同士での感染（水平感染）を防ぐことができます。

RSウイルス感染症

子牛で咳・鼻水などの呼吸器症状、発熱を起こします。感染力が非常に強く、農場内に次々と広がることもあります。他のウイルスや細菌、マイコプラズマとの混合感染により重症化する恐れがあります。

牛コロナウイルス感染症

新生子牛の下痢、成牛の冬季赤痢（下痢に血が混ざった状態）、呼吸器症状のいずれかを主徴とします。急激な気温の低下や変化、ストレス等により発症し、泌乳牛では乳量の大幅な低下を引き起こします。成牛には適切なワクチン接種、子牛には初乳の給与による免疫付与が重要です。



家畜所有者の「定期の報告」提出のお願い


家畜の所有者は、毎年2月1日時点に飼養している家畜の飼養頭羽数等について、都道府県知事に報告することが義務付けられています。昨年、定期報告書を提出していただいた皆様には、当所から通知文および報告様式を送付します。以下の報告期限までに提出をお願いします。

家畜所有者の区分	報告期限
牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚及びいのしし	令和8年4月15日
鶏、あひる、うずら、きじ、エミュー、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥	令和8年6月15日

クイズの答え：②

冬眠するのはクマやリスなど一部の動物です。イノシシは寒さに強く、冬でも餌を求めて活動を続けるので、冬眠はしません。

発行日 令和8年1月26日

編集発行  東京都家畜保健衛生所

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

TEL：042-588-7171

携帯：090-6941-4315（緊急用）

